

**九・十月の行事予定**

老人会グランドゴルフ大会  
9月8日(日)  
場所 掬水小学校グランド

第1回親子ふれあいスポーツ教室  
9月21(土)10時00分～11時30分  
場所 掬水小学校グランド  
(雨天時:掬水小学校体育館)

防災訓練  
10月14日(月)  
\*詳細は後日お知らせいたします

7月27日(土)の掬水夏まつりは、天候にも恵まれ、たくさんの方で賑わいました。夕方の演技披露も多くの観覧者で大いに盛り上がりました。各自治会の皆様、事前準備や当日も朝早くから準備をしていただき、ありがとうございます。



平成25年8月20日  
掬水まちづくり協議会  
86号

演技の披露中、自治会の皆さんは夜店に大忙しです。 →

～演技披露～  
皆さん楽しそうです。ご参加ありがとうございました。



**一円玉募金について  
榊田地区連合自治会**

**〇趣旨と方法について**

・掬水まちづくり協議会や「榊田地区連合自治会」で最も大切にしているのは地域住民のコミュニティづくりです。いろいろな点で地域の人々が仲よく助け合える街をつくることに急務であり、この一円玉募金も行っています。

・町内(組)会長さんには、お世話を掛けますが町内全世帯を回って集めてもらいますようにお願いしています。これは、町内(組)会長さんが募金を通して町内(組)を回ることにより、町内(組)の人々との付き合いが深まっていくと考えているからです。要は顔と顔とを見て集めていただくことが大切になります。忙しいからと言って、回覧板にして募金箱に自由に入れてくださるとか、面倒だから町内(組)の貯金からまとめて出しておくという顔も見ない、募金感覚の起こらないのでは全くダメで、趣旨が生かされていません。

**〇今回の募金報告について(6月集計分)**

榊田地区連合自治会では従前より年2回(6、11月に集計)、榊田地区全世帯を対象として「一円玉募金」を行っています。今回報告いたしますのは、あくまでも金額の確認と募金の趣旨や町内(組)の集金のあり方など話し合い確認をしていただくためのものです。

自治会名	山添町	安楽町	山下町	伊賀町	みどり苑
募金額合計	3,083円	1,217円	190円	14,750円	8,392円
	豊原町	榊田町	清水町	菅生町	合計
	38,388円	2,299円	2,614円	313円	71,246円

	山添町	安楽町	山下町	伊賀町	みどり苑	豊原町	榊田町	清水町	菅生町	合計
配布数	234	64	88	547	240	1,150	793	157	62	3,335
回収数	214	63	88	532	240	1,042	765	143	52	3,139
回収率	91%	98%	100%	97%	100%	91%	96%	91%	84%	94%

3、139枚の回収ができました

**アンケート集計結果のご報告**

4月に実施した地域課題等に関するアンケートに多くの方々のご協力を頂き大変有難うございました。その集計結果について数回に分けて報告致します。

1. 配布数と回収率

**四国八十八ヶ所霊場  
歩き遍路物語(二十八)**  
豊原町 岩塚 章

今日は坊っちゃんの松山、  
そして道後温泉

今日は愛媛松山に入る。民宿から四十四番大宝寺まで五キロ。このお寺で八十八ヶ所半分お参り出来た。次の四十六番浄瑠璃寺まで十七キロ。標高七一〇メートルの三坂峠から一気に標高八十五メートルの松山市に下る。六キロの距離で六二〇メートル下るのである。四十五度の下山道というよりも真つ逆さまの崖である。今迄七五〇キロの遍路道を三十二日かけて歩いて来たがこんな下り坂は初めてである。下り中、木に抱きつき、木の枝を持って体を支えての下りである。階段を二つ三つ外した様な高さの足場。飛び下りる様な時もしばしば。足は勿論腰も手まで痛い。泣けて来るのをぐつと我慢しての下山のうち、やつと四十六番浄瑠璃寺へ。そして四十四番大宝寺から十五キロ、夕方五時ぎりぎりにお寺を参る。今夜は寺前の長珍屋で一泊。夕食時も下り坂のことばかり。人生って歩き遍路の如し。晴れ、雨、風そして山道あり、どんだの谷道、時には大型バスい

っぱいのトンネルにへばり付いてやり過ぎたり全てが人生模様。この遍路でその様なことを少しでも知った。世間ではザンゲにと少しでも自分を知りたくて、また「あんな奴四国まで行ってザンゲだぞ。チャンチャラおかしいよ」と下げ言葉を言われる人がいるけれどそれはお人、お人の考え。でもこの道を一カ月以上歩いて来るとおぼろげながらこれが人生かな。そんなことを知るような気になる時がある。何も判らなくてもよい。この道歩いていてのだけで、大阪でも考えずにのうのうと生きていくよりも少しはましなのか。この四国の道を歩いたからと言って人間が変わる、そんなことは無いと思うが松阪での生活と、汗をかき、足を痛めて次の目標に向って進む。その生活が出来ただけでいいじゃありませんか。「四国なんかに行つて何になる」その様に言われるお人はまたそれで人生満足して生きていらつしやるからいいではありませんか。



つづく

**伊勢街道を歩いてみた①**

このごろ、バックパックを背負った六十代ぐらいの人たちが伊勢街道散策をしているのでしようか、時折り街道筋で見かけることが多くなってきました。その向こうを張るわけではないのですが、掃水まちづくり協議会の郷土文化歴史研究プロジェクトのメンバーも歩いてみることにしました。会員十名の外に十二名の参加を頂き五月二十四日午後一時から歩きました。この日は暑い日でした。

伊勢街道を歩いてみたといっても、大げさなものではありません。単に、伊賀町から豊原町の堤防までのことです。

講師は、この会を指導していただいている松井淳さんです。松井さんには、暑い天候の中、熱心に説明していただきました。

**【伊勢街道】**

伊勢街道は、東海道の四日市日永追分を起点とし宇治橋までの区間を言い、距離は約七十四km(一五里三五町)。

伊勢街道は、松阪市の中には二本あり、一本は海寄りの道(古道)で、もう一本は市街地を通る道である。これは、蒲生氏郷が松ヶ島から四五百森に城を移

し松坂城を築いた(天正十六年・一五八八年)ときに、海寄りの道からほぼ現在の道に替えたことによる。

それまでの海寄りの道(古道)は、小野古江の渡しで雲出川を渡つて三雲町に入り、六軒・松ヶ崎・松ヶ島・胤師・大口・郷津・朝田・立入・清水(現西方寺の前)・榑田川を渡つて井口・齋宮・内宮宇治橋の道をとつていた。

氏郷は、松坂城築城とともに松坂城下を通るようにし、六軒・市場庄・久米・塚本・船江・川井町・西町・本町・日野町・湊町から垣鼻・上川・豊原を通し榑田川を渡つて、早馬瀬から齋宮で旧道と合流させた。これが現在の伊勢街道である。



「掃水地区の日」は  
9月25日(水)  
当日のみ有効  
この案内と1,000円以上お買上げの方に  
**20ポイントプレゼント**  
A コーブくしだ  
営業時間 10時~21時(日曜日のみ9時オープン)

---

**惣菜、畜産部門パート募集中**